

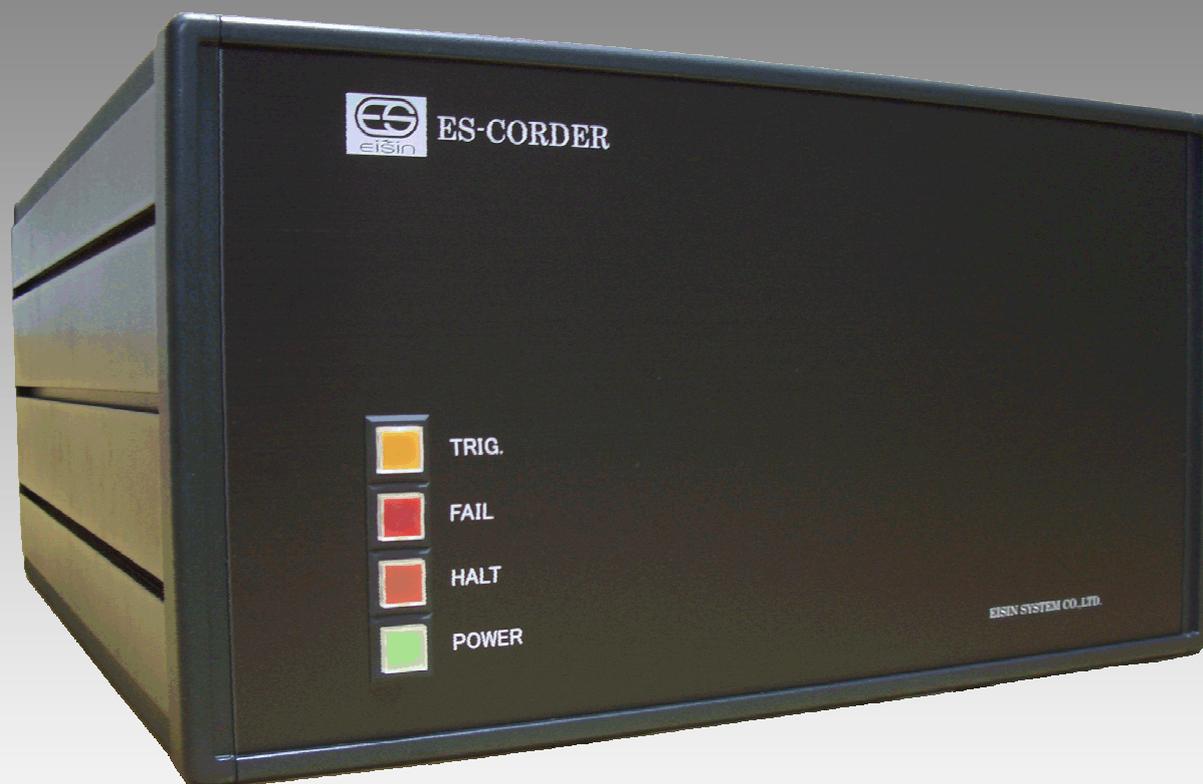


REALTIME
RECORDER

リアルタイム
収録装置

リアルタイム収録装置

ES-CORDER



REALTIME

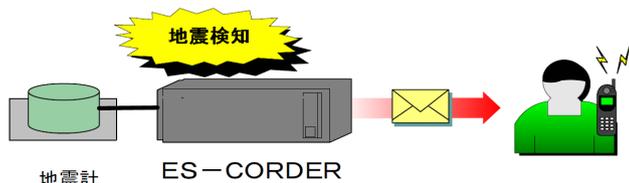
EISIN SYSTEM Co. Ltd.

リアルタイムに地震情報が取得できる収録装置

よりリアルタイムに、様々な方法で必要な地震情報を発信

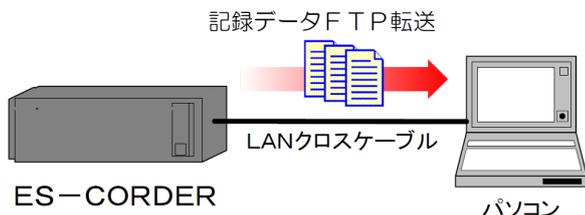
メール送信機能で外出先でも情報を受信

地震情報を携帯電話やパソコンにメール配信します。メールを受けられる場所にいれば、地震発生後、即座に地震情報を得ることができます。



かんたん！記録ファイルの回収

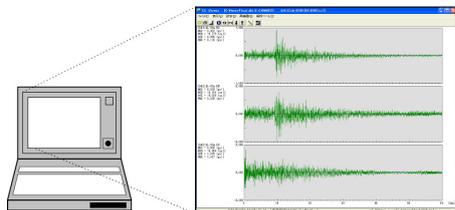
本装置はFTPサーバになっているため、LAN上のパソコンからFTP接続により、簡単操作で地震記録ファイルを回収できます。回収のためのソフトウェアは、専用ソフトウェアは不要で、インターネット・エクスプローラや一般的なFTPクライアント・ソフトウェア等が利用できます。



記録フォーマットはXML

今までの地震記録ファイルは、機器毎の特殊なフォーマットで記述され、データの外部利用が困難でしたが、本装置の記録ファイルは記録フォーマットにXML形式を採用したため、webブラウザで地震情報を確認できる等、様々な利用の可能性があります。また、波形データ部はCSV形式で記述してあるため、マイクロソフト・エクセル等で簡単に波形表示できます。

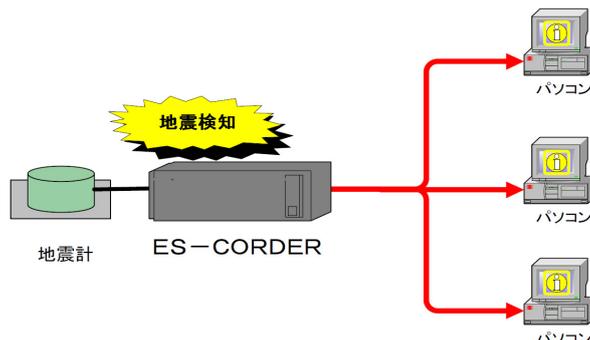
オプションの波形表示ソフトES-Viewerを使うと、波形の表示や解析処理がさらに簡単に行えます。



地震情報をリアルタイムで配信

地震情報をLANなどのネットワークに接続されたパソコンにリアルタイムに配信します。

オプションの受信ソフトES-AlertPCをお使いのパソコンにインストールすることにより、画面上で地震発生を即座に確認することができます。



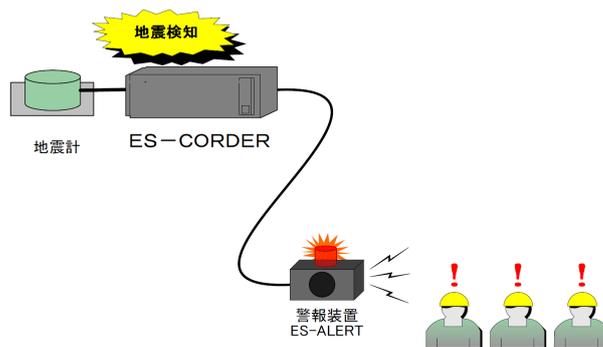
震度情報の変化を的確にキャッチ

地震発生後、地震が収束する前に、その時点の震度(相当値[※])を逐次計算し、地震情報をメール配信します。いったん収まった揺れが再度大きくなった場合でも、更新計測震度を配信し、常に最新の震度をお知らせします。

※気象庁での計測震度計算方式と同じ方式ですが、検定を受けたものではありません

光と音で地震発生をお知らせ

オプションの警報装置ES-ALERTをLANに接続すれば、作業現場やオフィスなどで多数の人にお知らせできます。



オプション製品でさらに多機能に

多様なオプション製品をご用意しております

●地震情報受信警報ソフト ES-Alert PC

ES-CORDERからネットワーク上に送信される地震情報をリアルタイム受信。お手持ちのパソコンに表示します。



※画面はイメージです

●警報装置 ES-ALERT

ES-CORDERからネットワーク上に送信される地震情報をリアルタイム受信し、警報機(別売り)を制御することが出来ます。接点信号出力が付いているので、警報ライト、ブザー、その他さまざまな機器に接続することができます。

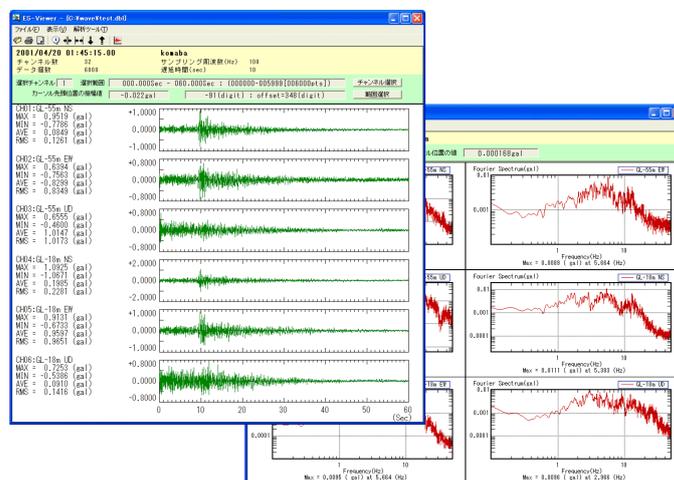
<ES-ALERT仕様>

型式	AL-104
外部接点信号	無電圧接点出力 3点
制御インターフェイス	Ethernet (10BASE-T)
制御方式	UDP/IP を使用した専用コマンドによる
電源	AC100V
外形寸法	100(W)×100(D)×200(H) 突起部を含まず
重量	約 900g

※仕様は予告無く変更することがあります。あらかじめご了承ください

●地震データ表示ソフト ES-Viewer

ES-CORDERにて記録された地震データを表示、解析用処理することが出来るソフトウェアです。地震データの時系列波形表示やFFTスペクトルの表示、テキスト形式への変換等の操作が簡単に行えます。



上記オプション以外にも、カスタマイズ製品、ソフトウェアの製作等承ります。お気軽にお申し付けください。

基本機能

収録装置にA/D、CPU、メモリー、GPS(オプション)、フィルター機能を備えます。
何台の収録装置を使う場合、同期トリガー信号にて同時記録可能。 GPS(オプション)による時刻校正できる。
Ethernet を使用して、パラメータ設定、起動記録、記録データがダウンロードできる。
リアルタイム監視波形(Real time)信号にて、一度に8チャンネル以上、パソコンの画面に表示することができる。
稼働中電力供給停止されても、復電時に収録装置が自動的に稼働状態に復旧する。パラメータ設定は保持される。
地震発生時のリアルタイム地震情報と警報出力の機能。 表示ソフト(オプション)にて地震発生時間、震度、各チャンネルの最大値が確認できる。
接続するセンサーにより、パラメータで物理量(センサー感度)が設定できる。

機器仕様

型式	DL-221-8	DL-221-16
チャンネル数	8	16
入力レンジ	±10V	
サンプリング周波数	10, 20, 25, 50, 100, 200Hz 可変	
分解能	16bit	
非直線性	±0.004%FS	
周波数測定範囲	DC~33Hz	
時刻校正	NTPによる時刻校正(NTP クライアント) 精度±500ms 以内(但しネットワーク環境による) GPSによる時刻校正(オプション) 精度±50ms 以内	
記録	自動記録(トリガー記録、スケジュール記録、常時記録)、手動記録	
記録ディスク容量	200GB 以上	
最大記録可能時間	160 時間以上	
遅延時間	0 から 30 秒(100Hz サンプリングの場合、1 秒単位で設定可能)	
連続記録	最大1時間の連続記録が可能。データファイルはサンプリング、チャンネル数に応じて最長 30 分間のファイルに分割されて記録される。	
トリガー機能	判断チャンネル	任意のチャンネルを選択(複数選択可)
	トリガー判断	判断チャンネルのうち、トリガーレベルを超過したチャンネルの数が指定数に達した場合、起動と判断する。
	判断レベル	フルスケールの 0.01%から 9.99%
拡張機能	最大値計算 震度計算機能(任意の 3 チャンネルから震度参考値を計算) 応答スペクトル計算	
データフォーマット	XML テキストフォーマット(ZIP 圧縮)、1 秒毎の可変長記録	
外部インターフェイス	Ethernet (100BASE-TX) 無電圧接点信号(3 点)	
ネットワーク機能	FTP サーバ(記録ファイル送信) メール送信機能(トリガー情報、地震情報の配信、1 日 1 回のメンテナンス情報の配信) NTP クライアント(時刻修正用) http サーバ(設定変更 web ページ) telnet サーバ(設定コマンド用) 警報機能(UDP/IP による地震情報データ自動送信) RTD(TCP/IP によるリアルタイムデータ送信)	
電源	AC90-110V 50/60Hz	
外形寸法	430(W)×450(D)×222(H) 突起部を含まず	

※仕様は予告無く変更することがあります。あらかじめご了承ください



エイシンシステム株式会社

〒272-0138 千葉県市川市南行徳 2-18-18 NICハイム行徳第五-210

TEL 047-396-8217 FAX 047-396-8297

<http://www.eisinsystem.com>

E-mail: info@eisinsystem.com

※製品の仕様、規格及び外觀は改良のため予告なく変更することがあります。

※印刷の関係上本カタログに使用した写真及び画面は色や細部が実際と異なる場合がありますのでご了承ください。

※本カタログに記載の内容は2012年3月現在のものです。